

高等学校 令和7年度（2学年用）

教科 芸術

科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

使用教科書： 「Tutti+」（教育出版）

教科 芸術 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】音楽の構造や、音楽の特性に応じた要素や表現上の効果について理解し、表現できる。
- 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形作っている特徴を生かした音楽表現を工夫し、意図をもって表現している。
- 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協同的に演奏や鑑賞、創作等の学習活動に取り組んでいる。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・音楽の構造や特性と表現上の効果について理解している。	・音楽の特色を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことで感じたこととのかかわりについて考えるとともに、どのように表現するかについての意図をもって表現している。	・楽曲の内容について関心を持ち、主体的協同的に取り組もうとしている。
・創意工夫を生かした演奏表現をするために必要な知識・技能を身につけ、表現している。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価標準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	校歌を歌おう 【知識及び技能】 歌詞の内容について理解し、ふさわしい発声や発音で演奏表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲を構成している要素を理解し、それらの関わりについて考え、工夫して演奏表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の抑揚、アクセントや流れについての表現を工夫し、主体的に演奏活動に取り組もうとしている。	校歌「青き けやきの丘に」	○				【知識・技能】 校歌の特性を理解し、曲にふさわしい発声、発音体の使い方を身につけようとしている。 【思考・判断・表現】 楽曲を構成する要素を理解し、その働きとの関わりを考えながら演奏表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 校歌の歌詞の特性を感じ取り、イメージをもって主体的に演奏活動に取り組んでいる。	○	○	○	7
	西洋の楽器と合奏について理解しよう 【知識及び技能】 楽器の構造と音色、奏法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楽器の構造、音色をもとに楽器グループについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 西洋の楽器を積極的に理解しようとし、演奏表現に生かそうとしている。	・楽器音域表 ・ウィンドオーケストラ配置例 ・オーケストラ配置例 ・DVD「オーケストラ入門」 「オーケストラストーリー となりのトトロ」				○	【知識及び技能】 楽器の構造と音色、奏法等を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楽器の構造・音色から楽器グループを理解し、演奏表現に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 楽器について、興味をもって積極的に理解しようとしている。	○	○	○	9
	オーケストラの魅力を探ろう 【知識】 楽曲について、その内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲のそ形作っているもの、構成について理解し、その良さを味わおうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・作曲家年表 ・「Finlandia-hymni」 ・交響詩「Finlandia」				○	【知識・技能】 交響詩について理解し、楽曲の内容や音楽を形作っているものの関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 楽曲の特徴や構成を理解し、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 演奏表現上の効果に興味を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	音名と記譜を理解しよう 【知識】 記譜についての記号と音名を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楽譜を読み、表現に生かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 楽譜や音名について、主体的に学習活動を行っている。	・楽典「大譜表と音名」	○	○	○		【知識・技能】 大譜表と音名について理解している。 【思考・判断・表現】 記号や音名の関わりを結び付けて考え、読譜できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に、楽譜について理解しようと取り組んでいる。	○	○	○	5

[illegible]